



五中だより

令和 4 年 1 1 月 1 日
小平市立小平第五中学校
校長 伊藤 克行
小平市小川町 1 - 7 9 8

進路を決める

校長 伊藤 克行

中学校は皆さんがご存じの通り、義務教育の最後の学校です。つまり卒業後の進路は「自分で決める」ことになります。今回は少し私自身の進路について振り返ってみようと思います。

大学時代、アルバイトがきっかけで私は公立学校の教員になろうと思いました。法学部に在学していたので大学時代に取得できたのは社会科の中学校と高校の教員免許状でした。

大学 4 年生の時に東京都中学校社会科の教員採用試験を受けました。恥ずかしい話ですが私は社会科が苦手で社会の試験開始 5 分後に全く歯が立たないことに気づき、途中退室を申し出ました。試験監督者の方に何度も「本当にいいのですか」と確認されましたが、どんなに時間をかけても結果は変わらないと感じていましたので、そのまま退室しました。

帰り道にたまたま入った本屋で、法学部（文系）出身者でも 1 年間の通信教育で理系の数学教員免許が取れることを知りました。社会科に比べ数学が好きだったことに加え、社会科の教員よりも数学の教員の方が遙かに合格しやすいことを知った私は、さっそく帰り道で通信教育の手続きをとりました。

私の大学時代の仲間は卒業と同時にすべて企業に就職しました。私一人だけがどこにも就職せずに無職のまま次の年を迎えることになりました。今思い返すとこの決断がその後の人生を決めたように感じています。大学卒業後は就職するという「他の人と同じ、あたりまえのやり方ができなくなってしまった。」ことで「やりたいことを実現するにはどうしたらよいか。」を考えることができるようになりました。

こんな思いをしてまでなった教員を 30 歳の時に退職します。少しかっこよい言い方かもしれませんが自分を見失いそうになっていたからです。退職した私は当時ロンドンに住んでいた友人宅に転がり込みます。1 年間ほど貧乏旅行をしながらロンドンで生活をしました。帰国後、アルバイト生活をしているときに、やはり教員になりたいと強く思い再受験しました。そして東京都の教員になりました。

さて話を現在に戻します。義務教育の最後の学校生活を送る皆さんに考えてほしいことがあります。失敗を恐れずに、ぜひ自分のやりたいことを考えてほしいのです。自分の人生を自分自身で決定できる人になってほしいからです。

自分のやりたいことを考えるには練習が必要です。もちろん中には自分の才能に気づいたり、やりたいことに運命的に出会ったりする人もいます。しかしそんな幸運な人は一部だけではないでしょうか。

中学校卒業後の進路を考えることは、何も決まりはないわけですから、自分で決定しなければなりません。「みんなが高校に行くから私もそうしよう。」と考えているかもしれません。でも学校は自分で決めなければなりませんよね。どれが正解かではなく、自分がどうしたいのかを自分自身で考えてみましょう。やりたいことに気づくのは簡単なことではありません。実はたくさんの練習とたくさんの失敗が必要なのだと思います。とりあえず自分で考えて出した結論で行動する、もし間違って失敗したらそれはやりたいことに近づくための貴重な経験になります。だからこそ義務教育の出口にいる皆さんに失敗を恐れずに、自分のやりたいことを考えてほしいのです。

そんな皆さんと一緒に時間を過ごすことのできる中学校教員を私は大変素敵な仕事と感じています。そしてこれからも日々皆さんに寄り添っていきたいと思います。

合唱コンクール



3年ぶりにルネこだいらに五中生の歌声が戻ってきました。午後から半日だけの実施、マスク着用で距離をとっての合唱、保護者の参観も入れ替え制と、まだまだ制約の多い中での実施になりましたが、大成功の合唱コンクールになりました。

約2週間前に始まったクラス練習。本番当日を迎えるまでには、どのクラスにも様々な「ドラマ」があったことでしょう。そうして出来上がった合唱は、同じ「共通

曲」の中にも、クラスごとに様々な表情があり、聞いている私たちの心を揺さぶるものでした。コロナ禍で途絶えかけた「合唱コンクール」という五中の伝統を、全校生徒でもう一度築き直せたように感じます。

早い時期から行事の成功に向けて準備を進めてきた実行委員のみなさん、おつかれさまでした。また、当日長時間にわたりご協力いただいた PTA 委員の皆様、ありがとうございました。

保護者の皆様におかれましても、お忙しい中ご来場いただきありがとうございました。



生徒朝礼

10月12日の生徒朝礼では、新生徒会役員と新専門委員長の任命式が行われました。すでに新体制になり、2年生を中心に後期の活動が行われていますが、校長先生から任命証を手渡された生徒たちは、より良い五中生徒会を作るために、決意を新たにしていました。これからの活躍が楽しみです。

<ワクチン接種に係る学校の指導について>

学校の教育活動においては、生徒に新型コロナワクチンの接種を受ける又は受けないことによって、差別や偏見、いじめにつながらないように指導しています。

新型コロナワクチンの接種は強制ではありません。接種はあくまでも本人及び保護者の意思で受けていただくものです。身体的な理由や様々な理由によってワクチンを接種することができない人や接種を望まない人がいること、また、その判断は尊重されるべきであることについて、御理解いただきますようお願いいたします。

お困りのことがございましたら、学級担任やスクールカウンセラー、小平市教育相談室(042-343-9411)に御相談ください。